大阪城
2020 7/16 (木) 14087号

全港湾 西成分会
ごんぞう 6647-4947

蝉の声が大きくなってきた。大災害の梅雨であったが、もう明けるのだろうか。

コロナがさわがれて、もう半年が過ぎたが、大小いろんな変化が生れてきているようだ。

時代を画して、ガラッと大きく変わったというようなことは、まだ時間がかかるのだろう。

米中の対立が「冷戦時代」にかえったように、戦争の危機もはらみながら、深く拡大している。

日本もアメリカにからめとられながら、すりより、かたいって経済、貿易では金もうけはしたいこと今現在、股さき状態になりつつある。あと3ヶ月、11/3のアメリカ大統領選がすぎれば、新しい段階に進むだろう。すでに、血を流さない戦争は始っている。

国内では、倒産がふえてきて、失業者もふえる経済になってきている。デジタルでテレワークとか半導体がつくる事業が活性化している。

この秋、選挙で、政治変革が生れるのか、先送りされるのか？日本社会も、不安、不満、怒りのマグマがたまってきている。どのような方向、方法で、流れ出していくだろうか。

Go toキャンペーン来週前倒し、本当にやるの？

旅行に行けば半額補助

予算一兆3500億円。
委託手数料2300億円

誰が怖くないのかね

Go toキャンペーンが7月22日に前倒し開始されることに関して、新型コロナウイルス感染が広がっている中で本当に大丈夫という声が日に日に強くなっています。当然だと思います。

先般来の大雨災害で大変な被害を受けた熊本県。多くのボランティアの皆さんの力を得ながら復旧復興を図ろうとされています。ただ、そのボランティアについては、新型コロナウイルスの感染を避けるために県外からのボランティアは「遠慮下さい」ということです。

大災害からの復旧にボランティアの皆さんの助けは、どれだけあっても足りないくらいありがたいものです。それを「県外からは遠慮して下さい」というのが現状です。

そんな中、Go toキャンペーンで全国に行って下さい、というのは時期的にいかがなものかと思います。

大串博志立憲民主党衆院議員

疑われる政府のバランス感覚

被災地ボランティアにはPCR検査を強制命じたり？